

センター企画講座のご案内

日時：平成28年2月13日(土)
14:00~16:00
内容：女性の生き方
講師：濱 貴子(はま たかこ)さん
(富山県立大学・講師)
会場：男女平等推進センター会議室
対象：テーマに関心がある人
定員：20名(申し込み順)
受講料：無料
申込み：男女平等推進センターまで



募集します!!

① 高岡市男女平等推進プラン情報誌「ありて」編集委員

任期：平成28年4月から2年間
募集人員：4名
対象：男女平等・共同参画のための情報誌作成に関心のある人
20歳以上の人(主に日中参加できる人)
役割：企画から取材、執筆、校正などの編集作業(月1回の会議)
その他：活動謝礼、傷害保険(市が負担)あり

詳しくは
センターへ
お問い合わせ
ください



② 高岡市男女平等・共同参画に関する委員

***男女平等推進市民委員会委員**
任務：市の男女平等・共同参画の推進に関する現状、施策の推進状況及び課題について調査審議を行います。
***男女平等推進センターネットワーク会議委員**
任務：男女平等推進センターの運営や事業に関する基本的事項について調査審議するとともに、市民の参画と協働による普及・啓発事業等を行います。
任期：いずれも委嘱の日から2年間



男女平等推進センター日誌抄

10月23日(金)	話スペース「ほこ あ ほこ」 女性が安心して話せる場	12日(木)~ 25日(水)	女性に対する暴力をなくす運動」 ・パネル展示(25日まで) ・DV予防啓発リーフレットの街頭配布 (高岡駅前)
25日(日)	ウイング・ウイング高岡 男女平等EXPO 高岡 2015 新高岡市誕生 10周年事業 「ひろげよう!! ライフ・ワーク・バランス ~笑顔がもたらす私らしい 働き方と生活~」 ・ワーク・ライフ・バランス 推進事業所認定証授与式 ・講演と落語	15日(日)	〔センター企画講座〕 女性のためのアサーティブネス・ トレーニング講座 【第1回】自己表現力チェック (市民企画講座) 話し合いが楽しくなる ファシリテーション&チームビルディング講座 【第1回】思いを共有し、関係性を深めよう 【企画:いあん・いあしい・Café】
30日(金)	男女平等推進プラン情報誌 「ありて」編集会議	22日(日)	〔センター企画講座〕 女性のためのアサーティブネス・ トレーニング講座 【第2回】NOを言おう! 【学習支援事業】 NPO法人Nプロジェクトひと・みち・まち 女性学を学ぼう 講師:水谷 千鶴子さん
11月1日(日)	【学習支援事業】シャキット富山35 女性の声で地域を変えよう 講師:土井 由三さん	27日(金)	男女平等推進プラン情報誌 「ありて」編集会議
8日(日)	(市民企画講座) 「ひきこもり」を考えよう みんな、ありのまま、等身大で、だい じょうぶ 【企画:高岡つくしの会(ひきこもり家族自助会)】		

高岡市男女平等推進センターの案内

高岡市男女平等推進センターは、男女平等・共同参画社会を実現するための拠点施設です。相談、講座等の開催、男女平等・共同参画を進めるための市民活動やネットワークづくりの支援、図書の出し入れや情報誌の発行等による情報提供などを行っています。

※休館日
毎月第4月曜日・12月29日~翌年の1月3日

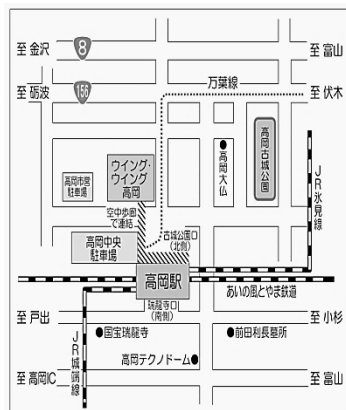
〒933-0023
富山県高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)
TEL (0766) 20-1810・FAX (0766) 20-1815

<相談室>

専任相談員が、DV や生き方、夫婦の問題などいろいろな相談を受けています。

相談時間
(月・火・水・金・土) 9:30~16:30
(木) 14:00~20:00

相談室専用電話
(0766) 20-1811



E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
HP: http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html

高岡市男女平等推進

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
(ウイング・ウイング高岡6階)
tel. (0766) 20-1810 fax. (0766) 20-1815

E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
HP: http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html

センターだより

2015
12月1日発行



「ありて」は、自分の方で問題解決していくイギリスの童話「アリーデ姫の冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が創る」とアリーデはいます。

それぞれのワーク・ライフ・バランス

富山県男女共同参画推進員高岡連絡会会長

たかぎ のりこ
高木 法子



言葉や文字で、どれだけ盛んに「男女平等」・「共同参画」や「女性の輝く社会」と言われても、「では今日からすぐ実行」とはいかないのが世の中だと思います。

自営業の我が家はワーク・ライフ・バランスなどと気のきいた言葉など無く、出産した後に産科のベッドの上で持ち込んだ仕事を片付けたことも、夕食が間に合わずお腹をすかせた子供に買って来たお弁当を食べさせながら仕事をしたこともありました。テレビに子守りをさせ、お菓子やジュースでご機嫌をとったものです。自分たちは仕事に対しての充実感はありましたが、子供たちにとっては迷惑な話です。3人の子供たちは下に行くほど保育園の入園年齢が幼くなりましたし、息子が高校生になった頃には自分の奥さんには専業主婦でいてもらいたいと言われてしまいました。少しだけショックでした。息子の気持ちもわかる半面、充分ではなくても家族旅行も学校行事も習い事やスポーツ少

年団の付き添いも夫と二人で頑張っていたつもりだったので仕事の為に家庭生活を犠牲にしているつもりはありませんでした。でも二人で仕事も家庭も頑張っているという矜持のせいで、いろいろ見えなくなっていたのかも知れません。PTAの役員を始め、推進員を知ったのはちょうどその頃でした。

現在その息子も含め上の二人は家を離れ、その為少しできた時間で夫婦二人して何かの役員を引き受けることも増えました。微妙なバランスとはいえ我が家は何とか成り立っていて、私も夫も好きに出かけてそれなりに楽しむ半面、役員会の予定をすり合わせ末の子の塾の送り迎えや部活の試合の送迎の予定を立てます。どちらかが無理をしたり休んだりしないように話し合います。予定ありきの歪な形ながらも、それは互いを尊重した我が家なりのワーク・ライフ・バランスなのかなと、思うようになりました。